

令和7年度 生路小学校教育目標

1 本校の教育目標

人と自然を愛し、心身ともにたくましく、主体的に学び、考え、行動できる子の育成

校訓	目指す児童像	
明るく	明るいあいさつと返事のできる子	自然を愛し、思いやりの心をもった子
強く	深く考え、粘り強く実行する子	生命を大切にし、たくましく生きる子
進んで	仲よく助け合い、進んで働く子	自ら学び、考えを進んで発表できる子

2 経営方針

全教職員が教育者としての使命を自覚し日々研鑽に努めるとともに、協力して、人間として調和のとれた児童の育成を目指す。

ア 児童が安心して通える学校づくりの推進

- 生徒指導の3機能（自己存在感・共感的人間関係・自己決定の場）を生かした教育
- ウェルビーイングの向上（自己肯定感・自己実現・協働性・絆づくり）
- 教育環境の充実（児童の活動に即した環境・安全な学習環境）

イ 確かな学力の育成

- 個別最適な学びを取り入れた授業改善と、基礎基本の確実な定着
- 未来を生き抜くために必要な資質・能力の育成
- 自己教育力を高めさせるための、振り返りの充実と家庭学習の習慣づくり

ウ 豊かな心と健康でたくましい体の育成

- 人を思いやる力と、あいさつ・返事・整理整頓
- 読書活動の充実
- 運動の楽しさの実感と外遊びの奨励、食育の充実

エ 信頼される頼もしい教職員集団の確立

- 現職教育、研修会の充実による、実践的で具体的な指導力の向上
- 少経験者研修等を通しての学級経営力、授業力の向上

オ 開かれた学校づくりの推進

- 家庭・地域への適切な情報発信
- 家庭・地域の教育力と地域人材の活用

カ 社会の変化に対応する教育の推進

- 情報モラル教育・キャリア教育・プログラミング教育・SDGsに関連する教育の推進

3 重点努力目標

一人一人を大切にし、資質・能力の向上を目指す教育の実現

- 一人一人の特性（得意・不得意、個人差）や興味・関心を大切にし、個に応じた指導・支援をすること等による、個の資質・能力の向上と、主体的に学びに向かう姿の実現
- 確かな教材理解に基づく学習展開・指導の工夫による、深い学びの実現
- 個別最適な学びを可能にする授業展開の工夫や、タブレット端末の効果的な活用等による、「わかる、できる、もっと学びたくなる」授業の実現
- 地域の学校として、地域と関わり、地域への誇りと愛着心を育成

働き方改革にかかる業務改善の推進

- 校務分掌の最適な配置、学校行事や教育活動全般の内容検討・効率化のさらなる推進
- 必要な情報共有による職員間の共通理解と、連携して適切に対応する体制の強化